

令和元年度の事業計画並びに収支予算

3月に開催された第149回理事会並びに第140回評議員会において、令和元年度の事業計画並びに収支予算をご承認いただきました。

事業計画の基本方針にありますとおり、社会保険制度の円滑な運営に寄与できるよう年金事務所や協会けんぽ等と協力連携し、事務講習会の開催、広報紙「社会保険ふくしま」の発行、「社会保険実務の手引き」等の参考図書配付等の社会保険制度の普及に努めるとともに、「無料入浴券」の配付等の福利厚生事業、講師派遣等の健康づくり事業、ハイキングやボウリング大会等の開催等、各事業の充実と推進に努めながら事業所様をサポートできるよう全力で取り組んで参ります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年度事業計画

基本方針

- (1) 社会保険制度の事業の円滑な運営に寄与するため、日本年金機構(県内年金事務所)及び全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険委員会連合会(各地区社会保険委員会)と協力連携し、社会保険制度の普及宣伝及び被保険者等の福利増進の推進を図る。
- (2) 公益事業である事務講習会事業・広報事業・社会保険制度の普及事業を重点事業として実施するとともに、会員の皆さまに役立つ事業についても前年度を踏襲しながら実施し、利用者や参加者が増えるよう各事業の充実と推進に努める。
- (3) 全国社会保険協会連合会や各都道府県社会保険協会と連携し、社会保険協会組織の強化と事業推進に努める。

会議

- 理事会を5月、12月、3月に開催する。
- 評議員会を5月(定時)と3月に開催する。
- 各支部(福島・郡山・平・会津若松・相馬・白河の6支部)において、支部計画に基づいて理事会・評議員会を開催する。
- 「社会保険ふくしま」編集委員を各地区1名委嘱するとともに、編集会議を6月に開催する。
- 四者協議(社会保険協会・日本年金機構・協会けんぽ・社会保険委員会)を開催する。
- 支部事務局長会議、支部個別協議(ヒアリング)を実施する。



事務講習会事業

- 春に「算定基礎届等事務講習会」を6会場で7回開催する。
(「社会保険ふくしま」3月号にお知らせと出席申込書を掲載しております。)
- 秋に「社会保険事務講習会」を12会場で14回(計画中)開催する。
- 郡山支部で年金セミナーを9月に4会場で開催する。
- 「労働関係事務講習会(仮称)」を9月に郡山市で開催する。
- 年金受給者協会が開催する「年金受給説明会」に共催する。

広報事業

- 「社会保険ふくしま」を隔月(奇数月)に発行(郵送)する。
- ホームページ(<http://www.f-shimakyoukai.or.jp>)の充実に努める。
- 主な事業を掲載した「事業のご案内」を4月に発行(郵送)する。
- 令和元年度事業計画・収支予算を「社会保険ふくしま」5月号に、平成30年度事業実施結果・収支決算を「社会保険ふくしま」7月号に掲載する。

社会保険制度の普及事業

- 「社会保険実務の手引き」(2019年度版)を作成し5月に郵送する。
- 月刊「社会保険」誌を社会保険委員設置事業所に毎月郵送する。
- 11月15日に「年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式」を開催するとともに、優良事業主を選定し協会長感謝状及び記念品を贈呈する。
- 社会保険事務担当者に役立つ参考図書等を購入し配付する。



福利厚生事業

- 無料入浴券を希望する(応募のあった)事業所に配付する。
- 全国の各都道府県社会保険協会との統一事業として、全国のホテル等を優待料金で利用できる施設優待事業(施設利用会員証交付)を実施する。



支部事業

- 支部計画に基づいて、研修会やセミナー等を開催する。
- 支部計画に基づいて、健康づくりハイキング・健康づくりボウリング大会・健康づくりゴルフ大会・健康づくりソフトボール大会・健康づくりパークゴルフ大会等を開催する。

健康づくり事業

- リフレッシュ体操・ヨガ等の実技指導講師を希望する事業所へ無料派遣する。
- 健康講話や個別健康相談を実施する保健師を希望する事業所へ無料派遣する。
- 握力計・肺活量計等の体力測定器具を希望する事業所へ無料貸出する。
- DVD(21タイトル)等の健康教材を無料貸出する。



その他の事業

- 東北地方社会保険医療協議会(東北厚生局)・健康長寿ふくしま会議(福島県)・福島県地域年金事業運営調整会議(日本年金機構)等の依頼に基づき委員を推薦する。
- 事業推進のため関係団体との協力・連携の強化に努める。
- 組織強化のため会員の拡大に努める。

※事務講習会等の開催案内やハイキング等の参加者募集は、事前に「社会保険ふくしま」及び当協会ホームページ(www.f-shimakyoukai.or.jp/)でお知らせいたします。

令和元年度 収支予算

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	62,607,000	62,952,000	△ 345,000
(うち会費収入)	(60,404,000)	(60,643,000)	(△ 239,000)
(2) 経常費用			
① 事業費	41,389,000	41,178,000	211,000
② 管理費	22,342,000	21,637,000	705,000
経常費用計	63,731,000	62,815,000	916,000
当期経常増減額	△ 1,124,000	137,000	△ 1,261,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,124,000	137,000	△ 1,261,000
一般正味財産期首残高	64,567,000	64,350,000	217,000
一般正味財産期末残高	63,443,000	64,487,000	△ 1,044,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,443,000	64,487,000	△ 1,044,000

平成30年度事業実施結果並びに収支決算については、5月に開催される第150回理事会並びに第141回定時評議員会で審議が予定されており、承認後に「社会保険ふくしま」7・8月号に「社会保険協会だより(2)」として掲載しご報告申し上げます。

平成30年度の事業実施結果について

5月に開催された第150回理事会及び第141回定時評議員会において、平成30年度の事業実施結果並びに収支決算をご承認いただきました。

事業実施結果につきましては、事務講習会等の開催、「社会保険実務の手引き」配付、「社会保険ふくしま」の発行、無料入浴券の配付、施設優待事業、健康づくり事業、ハイキングやボウリング大会等の支部事業等、ほぼ計画どおり実施することができ、大変多くの皆さんにご参加とご利用をいただきました。

また、決算につきましては、概ね予算どおり執行し若干の黒字決算となりました。

皆様に御礼申し上げますとともに、引き続き社会保険制度の広報と皆様の福利増進のため全力を尽くしてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



役員

■本部役員

(平成30年5月29日改選)

役職名	氏 名	事業所名
会 長 (代表理事)	星 春 男	(株)福島県中央計算センター
副会長	田 崎 淳	東北ミドリ安全工業(株)
//	半 沢 幸 一	(公財)ときわ会
//	竹 田 秀	(一財)竹田健康財団
理 事	立 谷 一 郎	(株)サンエイ海苔
//	藤 田 祐 太 郎	高田産商(株)
//	服 部 司	(株)福島製作所
専務理事(業務執行理事)	五十嵐 和 典	(一財)福島県社会保険協会
監 事	坪 谷 常 吉	福島運送(株)
//	橋 本 明 良	福島県信用保証協会
評議員	山 崎 誠 一 郎	佐藤工業(株)
//	嶋 原 達 夫	東邦ゴム工業(株)
//	石 堂 修	福島製鋼(株)
//	鈴 木 正 博	(株)福島情報処理センター
//	林 明 博	林精器製造(株)
//	太 田 善 雄	(一財)太田綜合病院
//	芳 賀 潔	トーホク装美(株)
//	佐 久 間 博 巳	常磐興産(株)
//	高 久 田 達 雄	(株)日星製作所
//	渡 邊 泰 夫	會津通運(株)
//	佐 原 元	(医)佐原病院
//	宮 森 優 治	榮川酒造(株)
//	三 田 計	丸三製紙(株)
//	松 下 正 浩	松下建設(株)
//	牧 野 富 雄	白河信用金庫
//	藤 田 光 夫	藤田建設工業(株)

■支部役員

- 県内の年金事務所ごとに6支部があり、各支部役員名簿はホームページに掲載しております。

平成30年度事業実施結果報告

■会 議

- 本部「理事会」…………… 4回開催
- 本部「評議員会」…………… 2回開催
- 支部「理事会・評議員会」…………… 各支部とも2回開催
- 「社会保険ふくしま」編集会議…………… 1回開催
- 四者協議(年金事務所・協会けんぽ・委員会・当協会)…………… 4回開催
- 支部事務局長会議…………… 1回開催
- 本部・支部個別協議(ヒアリング)…………… 各支部1回開催

■講習会事業

- 春の事務講習会(算定基礎届等事務講習会)の開催
 - ・ 6月中に開催／7会場・9回開催(出席者1,340名)
- 秋の事務講習会(社会保険事務講習会)の開催
 - ・ 10～11月に開催／11会場・13回開催(出席者2,011名)
- 年金セミナー(郡山支部)の開催
 - ・ 9月に開催／4会場・4回開催(出席者105名)

■広報事業

- 「社会保険ふくしま」隔月(奇数月)に6号発行
 - ・ 6号のうち12頁で4号、10頁で2号を発行
 - ・ 会員事務所へ郵送
 - ・ 年金事務所及び協会けんぽの窓口に配置
- ホームページ(<http://www.f-shimakyoukai.or.jp>)の広報
- 「社会保険協会事業のご案内」を作成し4月に郵送
- 事業状況等について「社会保険ふくしま」の5月号と7月号に掲載し報告

■社会保険制度の普及事業

- 「社会保険実務の手引き」(2019年度版/A4/105頁)を作成し5月に郵送
- 「月刊社会保険」誌を社会保険委員設置事業所に毎月郵送
- 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の開催(四者共催)
 - ・ 11月15日に開催し優良事業主11名に協会長感謝状及び記念品を贈呈
 - (表彰事業所等は「社会保険ふくしま」11月号に掲載)

■福利厚生事業

- 無料入浴券の配付
 - ・ 「無料入浴券」を3,394事業所へ13,777枚配付
 - ・ 契約している15入浴施設で6,984枚、3,501,320円の利用
- 施設優待事業
 - ・ 全国の都道府県社会保険協会とともに共同事業として実施
 - ・ 「施設利用会員証」を289事業所へ1,810枚交付

健康づくり事業

- 実技指導講師の無料派遣 …………… 15回 (577名利用)
- 保健師の無料派遣 …………… 8回 (330名利用)
- 体力測定器具の無料貸出し …………… 16回 (769名利用)
- DVD等の健康教材無料貸出し …………… 10回 (376名利用)

支部で実施した事業

- 健康づくりハイキング …………… 6支部・6回開催 (359名参加)
- 健康づくりボウリング大会 …… 6支部・10回開催 (425名参加)
- 健康づくりゴルフ大会 …………… 2支部・3回開催 (43名参加)
- 健康づくりソフトボール大会 …… 1支部・1回開催 (8チーム参加)
- 健康づくりパークゴルフ大会 …… 1支部・2回開催 (37名参加)

関係団体との協力・連携

- 外部委員活動 (推薦)
 - ・ 東北地方社会保険医療協議会臨時委員 (事業主代表／厚生労働大臣委嘱)
 - ・ 福島県「健康長寿ふくしま会議」
 - ・ 地域・職域連携推進部会委員 (知事委嘱)
 - ・ 福島県地域年金事業運営調整会議
- 事業目的を達成するため各関係団体との協力・連携
 - ・ 日本年金機構、全国健康保険協会、社会保険委員会、年金受給者協会、商工会議所及び商工会、経営者協会等、関係団体と協力・連携し事業の推進に努めた。

収支決算

平成30年度一般会計貸借対照表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産	17,393,350	17,071,256	322,094
2 固定資産	57,250,502	56,638,502	612,000
3 繰延資産	0	0	0
資産合計	74,643,852	73,709,758	934,094
II 負債の部			
1 流動負債	3,033,595	2,709,598	323,997
2 固定負債	7,148,901	6,572,901	576,000
負債合計	10,182,496	9,282,499	899,997
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	64,461,356	64,427,259	34,097
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	64,461,356	64,427,259	34,097
負債及び正味財産合計	74,643,852	73,709,758	934,094

平成30年度一般会計正味財産増減計算書

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	62,055,654	62,523,037	△ 467,383
(うち会費収入)	(60,237,200)	(60,667,900)	(△ 511,200)
(2) 経常費用			
① 事業費	40,622,601	41,193,435	△ 570,834
② 管理費	21,398,956	21,141,742	257,214
経常費用計	62,021,557	62,335,177	△ 313,620
当期経常増減額	34,097	187,860	△ 153,763
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	34,097	187,860	△ 153,763
一般正味財産期首残高	64,427,259	64,239,399	187,860
一般正味財産期末残高	64,461,356	64,427,259	34,097
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	64,461,356	64,427,259	34,097